

特別講演会のお知らせ

「ハリケーン・カトリーナによる災害とその教訓」

講師 コーネル大学 Tom O'Rourke 教授

日時：平成19年3月7日（水） 15:00-17:00

場所：東京工業大学 大岡山キャンパス 西9号館3階W933室
（東急目黒線または大井町線大岡山駅下車5分、次ページに地図あり）

言語：英語（同時通訳あり）

司会：東京工業大学 日下部 治 教授

参加費：無料

申込：氏名、所属を記載し、下記のいずれかにより事前に申し込みください。

Mail:katrina@cuee.titech.ac.jp、Fax：03-5734-3200、またはセンターHP

主催：文部科学省21世紀COE(Center Of Excellence)拠点

東工大・都市地震工学センター(<http://www.cuee.titech.ac.jp>)

後援：社団法人 地盤工学会

講演概要：

2005年8月にアメリカ合衆国東南部を襲ったハリケーン・カトリーナは、ニューオーリンズ市の80%以上を水没させ、1800名以上の死者と250億ドル（2兆8千億円）の被害をもたらし、米国歴史上、最大の惨事となりました。

本特別講演では、米国学士院ハリケーン・カトリーナ被害調査委員会委員を務め、第4回都市地震工学国際会議に来日された Tom O'Rourke 教授を特別講師に迎えて、ハリケーン・カトリーナのもたらした災害の実態と歴史的背景、その社会基盤への影響と被害を拡大した要因、被害から学ぶ巨大複合災害への備えについて、専門家はもとより大学教職員、学生、一般市民の方々にとっても分かりやすくご講演頂く予定です。ふるって、ご参加頂ければ幸いです。

講師略歴：

同教授は、コーネル大学教授、米国学士院会員、前米国地震工学会(EERI)会長。専門は、ライフライン地震工学、地盤工学。その卓抜した業績と話術により、多数の国際会議で基調講演、招待講演を行なうとともに、学協会から様々な賞を授与されています。



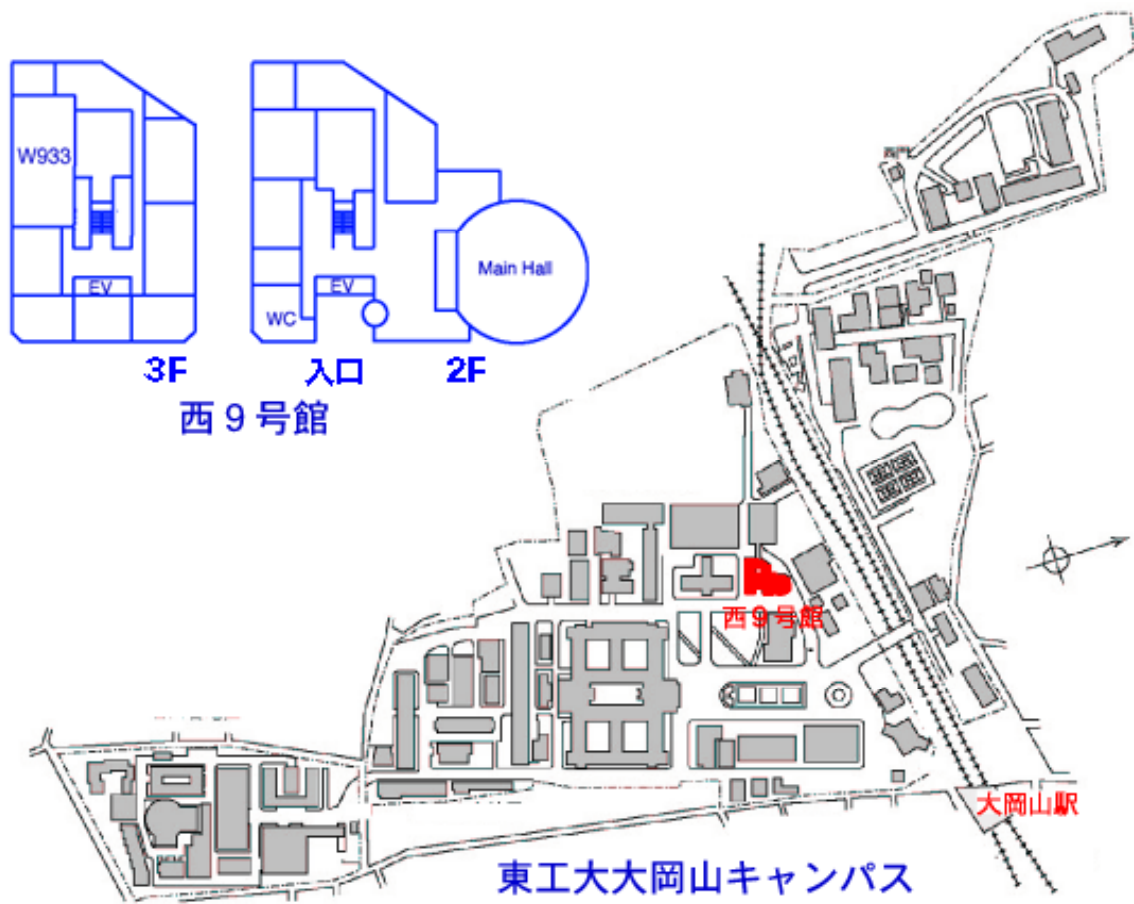
連絡先：東工大・都市地震工学センター

大岡山事務局

TEL:03-5734-3200

Mail: office@cuee.titech.ac.jp

<http://www.cuee.titech.ac.jp>



3F

入口

2F

西9号館

西9号館

大岡山駅

東工大大岡山キャンパス